

アユの資源と早期アユの漁獲状況について

1 早期アユの漁獲状況 (速報)

- ・ 12 月 1 日から活魚漁獲開始 (12 月注文量 12,901kg)。
- ・ エリの操業合計統数は 41 統 (14 漁協)。(R1 : 43 統 H30 : 52 統)。
- ・ 初日の漁獲量は平年並みの 5,833kg(平年値 5,018kg)で、昨年の 120%、一昨年の 95% (平年値 : H22 年から R1 年まで 10 年間の平均値)。
- ・ 6 日目 (12 月 6 日) までの累積漁獲量は 13,216kg で、注文量を充足し、12 月の活魚漁獲は終了。
- ・ 食用のヒウオ漁は、12 月 7 日から 12 月 13 日まで継続。
- ・ エリ漁の再開は 1 月 12 日の予定。

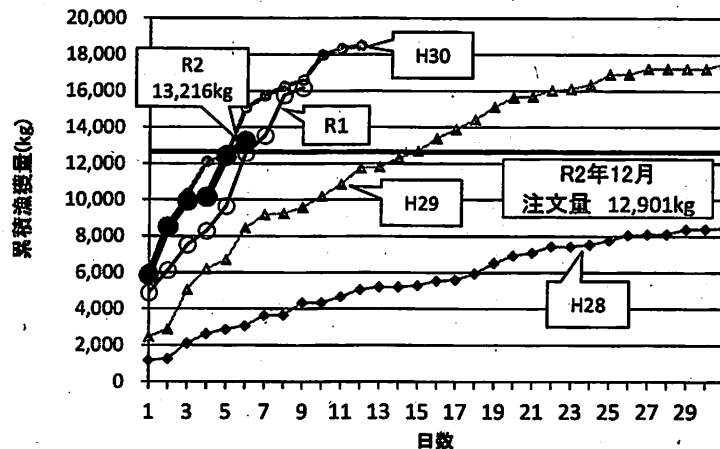


図1 12月の活魚漁獲状況の比較

2 今季アユ資源の状況

(1) 概要

- ・ 琵琶湖に流下した仔アユ数は、天然河川から 96.1 億尾、人工河川から 25.1 億尾の計 121.2 億尾であり平年比 69%であった。
- ・ 湖中仔アユ生息状況調査(ヒウオ曳き調査)の第2次調査までの採集尾数は平年よりも少なく推移 (流下仔アユ数からは妥当なレベル)。

(2) 天然河川の産卵状況(主要 11 河川)

- ・ 9 月下旬から 2 週間に 1 回のペースで 6 回調査。
- ・ 総産卵数は 47.8 億粒 (平年比 56.2%) で、昨年と同水準。
- ・ 流下数に換算すると 96.1 億尾 (47.8 億粒 × 2.01)。
- ・ 9 月の少雨や残暑によって、各河川とも水量が少なく水温の高い状態が続き河川環境が産卵に適していなかったことが平年を下回った理由と推測。

表1 河川別産卵調査結果

河川名	(単位:億粒)						計
	第1次調査 8月26日~27日	第2次調査 9月8日~11日	第3次調査 9月23日~28日	第4次調査 10月6日~9日	第5次調査 10月20日~22日	第6次調査 11月2日~4日	
安曇川北流	濁水	0.0※	濁水	0.0※	0.0※	0.0	0.0
安曇川南流	濁水	0.0※	濁水	0.0※	0.0※	0.0	0.0
石田川	0.0	0.1	0.7	2.9	0.0※	0.0※	3.7
知内川	0.0※	1.8	3.0	1.3	0.0※	0.0	6.1
塩津大川	0.0	0.0※	0.3	0.0※	0.0※	増水	0.3
姉川	0.0	3.4	21.2	0.1	0.0※	増水	24.7
天野川	0.0	0.0※	1.2	増水	0.0※	0.0※	1.3
芹川	0.0	0.6	0.4	0.0※	0.0※	0.0	1.1
犬上川	0.0	6.5	1.9	0.2	1.6	0.0※	10.1
愛知川	0.0	0.0	0.0	0.0	増水	増水	0.0
野洲川	0.0	増水	0.0※	0.1	0.0※	0.0	0.2
和邇川	0.0	0.0※	0.2	0.1	0.0※	0.0	0.2
計	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0	47.8
平年値**	0.1	16.0	34.5	13.2	0.7	0.0	85.1

※単位未満の産卵あり。 ※※平年値:過去10年間のうち、最大値、最小値、過小評価となったH30年を除く平均値。

備考) 第2次調査時に安曇川北流 30.4℃、姉川 23.6℃、石田川 23.8℃、野洲川 25.2℃など、知内川を除く10河川で産卵最適水温上限の23℃を超えていた。

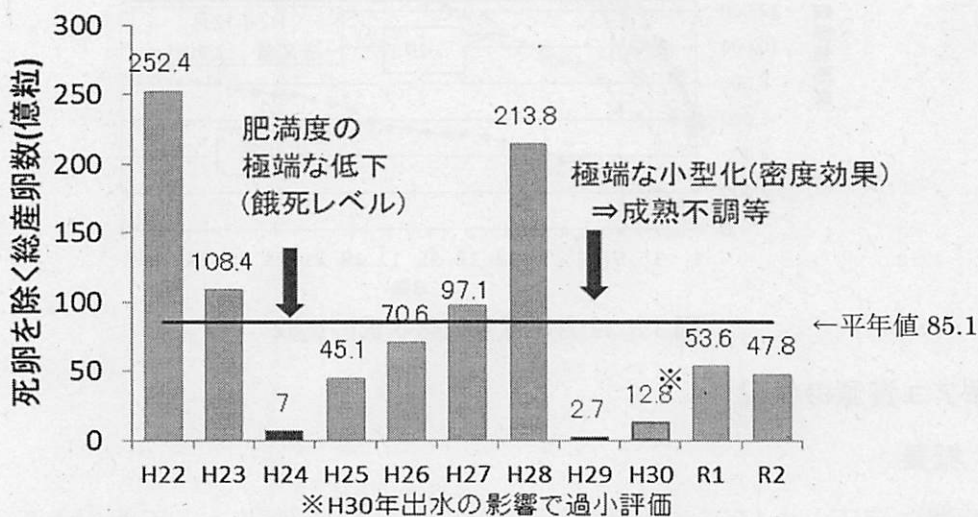


図2 近年の総産卵数の推移

(3) 人工河川の状況

1) 安曇川人工河川

- ・ 県内養殖業者が育てた養成親魚8トンを放流。
- ・ 総流下数は15.5億尾。

2) 姉川人工河川

- ・ 姉川に遡上した天然親魚4トンを採捕し放流。
- ・ 総流下数は9.6億尾。

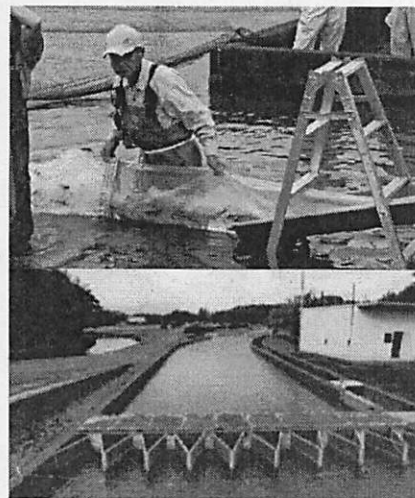


写真1 安曇川人工河川での親魚放流



3) 合計流下仔アユ数

- ・合計流下仔アユ数は 25.1 億尾。で計画量 24 億尾（親魚 1 トン当たり 2 億尾 × 12 トン）を上回った。
- ・天然河川と人工河川の合計では 121.2 億尾 で 平年の 69%。

(4) 湖中仔アユ(ヒウオ)生息状況調査

1) 調査概要

- ・琵琶湖へ流下した仔アユの生息状況の把握が目的。
- ・琵琶湖沿岸の 9 水域で水深 8 m 層を曳網し（1 km × 2 回）仔アユを採集。
- ・10 月～12 月の各月 1 回、新月の夜間（2 日間）に実施。

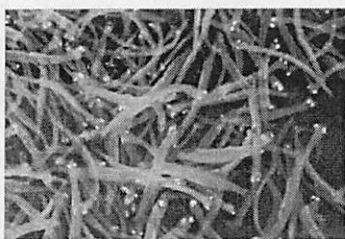


写真2 採捕されたアユ仔魚と調査風景(デモ)
およそ 1cm~4cm のアユが採捕される。



図4 調査水域

2) 実施日

- 第1次：10月15日、16日
- 第2次：11月11日、12日
- 第3次：12月中旬実施予定

3) 結果

採捕尾数

第1次調査：96尾／曳網（平年の72%）

第2次調査：49尾／曳網（平年の53%）

第3次調査：12月中旬実施

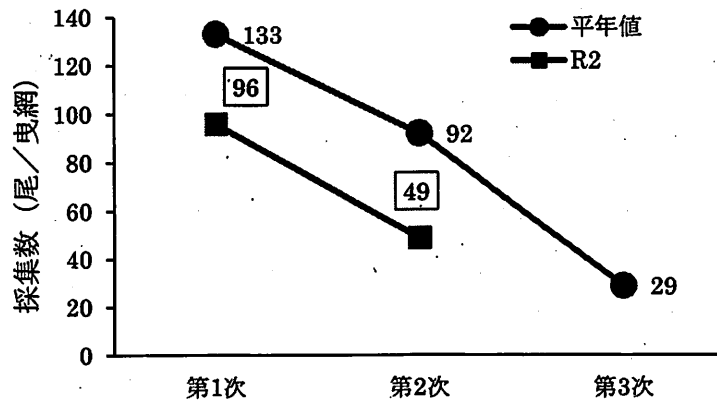


図5 湖中仔アユ(ヒウオ)生息状況調査による一曳網当たり採捕尾数の比較

- ・採捕尾数は第1次調査、第2次調査ともに平年より少なく推移（流下仔アユ数からは妥当なレベル）。
- ・平均体重は第1次調査で13mg、第2次調査で37mgであり、ともに平年並み。

(5) 今後の調査予定

- ・令和3年1月から8月まで、月1回ずつ周回コースおよび全域(トランセクト調査)での魚群探知機により湖中アユの分布状況を把握。
- ・毎月の漁獲物による、成長、肥満度(栄養状態)、漁具別ふ化日組成等の資源調査を行い今季のアユ資源の状態を随時把握。